令和元年度　国立大隅青少年自然の家　教育事業

鹿屋体育大学との連携による

おおすみくん家　スポーツキャンプ
～バスケットボール～

１　趣　　旨　　鹿屋体育大学との連携協力協定に基づき，青少年の体力・運動能力を踏まえたトレーニング法によるスポーツ技術の向上やコミュニケーション能力の向上を図り，青少年の自立を支援する。

２　期　　日　　令和２年２月２２日（土）～２３日（日）　１泊２日

３　対 象 者　　中学校のバスケットボールチーム，指導者及び保護者

４　募集定員　　８０人程度

５　参 加 者　　７１人（中学生６４人　指導者等７人）
鹿屋体育大学関係者１２人（監督１人　バスケットボール部員１１人）

６　指 導 者　　国立大学法人　鹿屋体育大学女子バスケットボール部監督　木葉　一総 氏
国立大学法人　鹿屋体育大学女子バスケットボール部員
国立大隅青少年自然の家　職員

７　日程と主な活動

２月２２日（土）		２月２３日（日）	
9:00	受　付（鹿屋体育大学）	6:00	起床・清掃・荷物移動
9:15	出会いのつどい	7:00	朝のつどい
9:30	【練　習　１】	7:30	朝　食
12:00	昼　食（各自持参）	8:15	退所点検（自主）
13:00	【練　習　２】	8:30	鹿屋体育大学へ移動
16:00	練習終了・集合写真撮影	9:00	【練　習　３】
16:30	大隅青少年自然の家へ移動	12:00	昼　食（弁当）・アンケート記入
17:00	オリエンテーション	13:00	【練　習　４】
18:00	夕　食	15:00	練習終了
18:45	入浴	15:05	別れのつどい
20:00	学習（生徒）	15:20	解　散（鹿屋体育大学）
	講義（指導者向け：交流会）	15:30	バス出発
22:00	就　寝		

８　事業運営上の配慮

（１）練習は，少人数のグルーピングを行い，中学生一人一人が大学生からアドバイスを受けやすいように配慮した。

（２）顧問の先生方から事前に各チームの課題をあげてもらい，それに即した練習メニューを考えていただいた。

９　参加者の感想

○　大学の方，職員の方，みなさんよくしてくださり，楽しくバスケを練習することができました。子供達，キラキラした目で学生の方々を見ていました。（指導者）

○　大学生が丁寧に教えてくださって，楽しく参加することができた。（生徒）

10　成果

○　昨年度に引き続き，事前に各チームの課題をあげてもらい，それに合わせた練習メニューを考えてもらったところ，指導者も生徒も満足された練習となった。

○　体育大学の監督から，「練習中に，できることをするのではなく，合宿で習ったことに挑戦しなければならない」という言葉があり，生徒もその点に注意して，より一層精力的に練習に励んでいた。